

L'aile d'Howl



【ライル・ドウル：ホウルの翼(仏語)】

April 2015

新年度は春季県南大会小学生部門からスタート☆

新年度を迎えて間もない4月5日、花巻市総合体育館にて、第48回県南春季ハンドボール大会が開催されました。会場の都合もあり、今回は先に小学生部門のみ実施するということになり、3月の箱崎カップをもって6年生が卒団したばかりの県内各少年団が、早速大会という場で新体制をスタートさせました。



今回の目玉は、新たに少年団として発足したばかりの「北上ハンドボールキッズ」！ここ数年は、花巻市での取り組みと同様に「小学生ハンドボール教室」という形で、北上市におけるハンドボールの普及を目指して活動しておりましたが、ハンドボールを継続的にやりたいという部員数が見込めるということになり、ついに県内5つ目の少年団が誕生することになりました！代表を務めるのは、これまで高校生を指導されてきた小田島隆信先生、そしてチームスタッフには小田島先生の教え子たちである萩江クラブの皆さん。チームとして最初の大会を迎えました。

男女混合チームで男子の部に出場した北上ハンドキッズは、花巻クラブジュニアとの初戦、思い切りの良いプレーで会場を沸かせます。大会に出てみたいという新中学生も交じていたようですが、それを抜きにしても、みんなが良く走り、積極的にゴールに向かっていきました。ミニバス出身の選手たちが結構いたようで、ボールの扱い方がとても上手でした。新体制になったばかりの花巻



クラブジュニアは、あわや負けるのでは？という展開になりましたが、なんとか先輩としての意地を見せた花巻が勝利をおさめました。チーム発足最初の公式戦を勝利で飾ることはできませんでしたが、北上ハンドキッズ、かなり有望です！これからのチームの成長を見守っていくとともに、互いに切磋琢磨していきたいと思います。



男子の部では、矢巾フェニックスが第3ピリオドにおいて逆転に成功し、見事優勝を飾りました。女子の部も、決勝でリトルハンドを下した矢巾フェニックスが優勝しました。U-10そしてU-8の部では、ともにリトルハンドが優勝の栄冠に輝きました。新体制になったばかりで大変な部分も多かったと思いますが、これから徐々に新6年生を中心にチーム作りを進め、7月の県民体育大会ではさらに成長した姿を見たいと思います！

県南大会・一般/高校部門☆新生花巻クラブに注目!!

上記の小学生部門に続き、一般・高校部門も翌週の4月11日～12日に開催されました。

まず高校男子の部ですが、地元の花巻北、花巻南高の活躍に注目が集まりました。さて、期待どおり決勝進出を果たした両校は、前半は一步も譲らず、ほぼ互角の戦いを展開します。しかし、9-6の3点差で折り返した後半、ここから花巻北が一気に突き放しにかかります。けがから復帰した石亀貴雅選手(花巻中OB)がDFを中央で締め、自ら

も速攻から得点を挙げるなど攻守にわたる活躍をみせました。終わってみれば19-8で花巻北が点差をつけての優勝を飾りました。このような試合展開が毎回できれば、県大会上位も十分狙えると思います。敗れた花巻南高も、新入生が入りますます成長が望めます。高校総体での活躍を大いに期待したいと思います。



なお、遠い県北から毎回この大会に出場している久慈高校ですが、吉田威一郎コーチ(不來方高校出身)そして西里恒平コーチ(盛岡一高出身)のもと、一生懸命ハンドボールに取り組んでいます。みんな高校スタートの初心者ですが、部員数も多く、みんな素直でひたむきな姿が見ていて気持ちいいです。県内トップでハンドボールを経験したコーチ陣が指導してくれることは非常に頼もしい限りです。また次回の大会でも、さらに成長した一生懸命なプレーを見せてほしいと思います。

高校女子は、小川至門先生が監督就任以来、著しい成長ぶりを見せている花巻南高が順当に決勝へ駒を進めました。決勝では、北上翔南高に後半追い上げられる場面もありましたが、14-12で手堅く勝利を収め、今年度最初の大会をいい形で終了しました。JOCメンバーが数名加わるようですし、これからがまた楽しみです。また、今回3位に終わった花巻北高ですが、入部したばかりの清水杏奈選手(花巻中OG)が早速コートに立ちました。いきなりゲームメイクを任せられるポジションでプレーしましたが、高校のユニフォーム姿も



なかなか決まっていた。今後の成長に期待です。

さて、一般男子ですが、今年度大きく生まれ変わった花巻クラブに注目が集まりました。ここ数年、富士大学の卒業生が花巻クラブに加入していましたが、自分たちで新たなチームを結成したいとの理由で退団。一気にメンバーが減り、危機的な状況になりましたが、帰郷した若手とガンバ花クラから呼び戻したベテランが融合し、新しいチームに生まれ変わりました。特に、早稲田大卒で年代別日本代表でも活躍した森田啓亮選手、秋田大を牽引した畠山諒選手(ともに花巻クラブジュニア→花巻北中OB)が加わったことは、大きなプラスとなりました。その花巻クラブは、



決勝で富士大学と接戦を演じ、惜しくも30-28で準優勝に甘んじましたが、今後に大きな希望が持てる結果でした。これからチーム力を高めて、今シーズンの社会人リーグでは優勝を目指して頑張りたいと思います。

また、一般女子ですが、飛び出しの早い速攻で得点を量産した富士大学が他チームを圧倒し、今回も女王の座に君臨しました。速攻に加えて、ミドルシュートを狙える選手も現在成長中のようです。幸先の良いスタートを切った今シーズン、インカレでも素晴らしい活躍を見せてくれることを信じていると思います。

いよいよ近づく 28 時間ハンドボール！ みんなで思う存分楽しみましょう

いいわて花巻
28時間耐久
ハンドボールゲーム

出場資格無制限
 大学生以下500円
 一般 1,000円

5/5(火・祝)9時~5/6(水・祝)13時
 @花巻市総合体育館 アネックス

2016(H28)年 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会500日前PRイベント
 「東日本大震災津波復興&2020年東京オリンピック・パラリンピック応援企画」
 お問い合わせ⇒花巻市ハンドボール協会：m.hand.hanamaki@gmail.com

いよいよ近づいてきました、28時間耐久ハンドボールゲーム！現在、800名を超える出場希望者が集まっています。これまで少し離れていたけど、久しぶりにハンドボールを楽しみたい！という方もいらっしゃると思います。初めての試みで、運営する側もどのような展開になるのか全く予想できません。

それだけに不安と期待が高まって仕方がないのですが、日本国内では最長記録となるこのイベントが成功裏に終わるよう、みんなできっと楽しんでほしい！

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
 2015年4月号
 2015年4月25日発行
 発行：花巻市ハンドボール協会